

教育行政

未来を育む教育環境について

加藤 誠一 (黎明21)

問 難聴の児童・生徒に対する補聴器等の購入費補助はあるか。

答 身障者手帳所持者は9割の補助が受けられ、手帳を取得していない方でも難聴児補助金により3分の2が補助される。

問 補聴器専用の耳栓(イヤーマールド)は子どもの成長に伴い買い替えが必要だが補助対象か。

答 修理の扱いで前者と同様に補助対象である。

問 教室で教師のマイクの音声を受信機で児童・生徒が聞く「FM補聴器システム」にも補助があるか。

答 補聴器と同様の補助があり、導入実績もある。

●乳幼児期〜学齢期の歯科口腔保健推進について

問 本市の子どもは虫歯保有率が高い。フッ化物洗口による虫歯抑制で羽生市は全国的な成果を上げていくと聞けが、近隣

市の状況はどうか。

答 熊谷市は小学校全校、羽生市は小・中学校全校で週1回フッ化物洗口を実施し、他の日は食後の歯磨きを行い成果を上げている。

問 本市では星宮小学校が週1回、老本幼稚園が週2回フッ化物洗口を行い、成果を上げているが、どう評価しているか。

答 磨き残しの無い歯磨き習慣化とともに歯科口腔保健推進の実践内容の一つとして評価している。

問 フッ化物洗口の有効性と安全性についてどう考えているか。

答 日本学校歯科医会は虫歯抑制効果は高いとしている。厚生省のフッ化物洗口ガイドラインに基づき、学校歯科医の指導の下、教諭と保護者が連携して実施しており、安全性にも問題ないと考え

ごみ問題

行田市、鴻巣市、北本市3市の
ごみ広域化、建設予定地の問題点

斉藤 博美 (日本共産党)

問 候補地選定は点数化し52ヶ所から直接安養寺に決定したが、次点の候補地とも僅差であり他の候補地との比較が殆どない。他のごみ処理組合では候補地選定審査会を重ね、数を徐々に絞り、検証結果の過程が見える。

答 6つの基準で点数化し一番点数の高かった安養寺を候補地とした。

問 組合がつくった項目で組合が点数化し、安養寺に決まっただけから、安養寺堰用水事業の受益地のため、8年間何も手につけられず用地取得が遅れるなど、様々な問題が出て来た。安養寺ありきの候補地選定ではないのか。

答 当初、県の農林部局に確認した時点では受益地ではないということを選定を進めていたが、平成27年5月になって受益地だと判明した。

問 安養寺に決定後、予

定外の洪水対策費が追加

さらに候補地周辺住民の要求である余熱利用施設建設(温水プール等)も合意してしまい、行田市負担がさらに上昇すると考える。中止して市単独で行うべきでは。小針に既に土地も購入済である。

答 鴻巣市内にごみ処理施設を建設することが大前提であり、そのような考えはない。

●待機児童問題

問 待機児童問題で、入所できない保護者から基準がわからないなどの声が全国である。行田市も選考基準は公表するべきでは。また透明性を確保する上で希望者には採点結果も公表すべきでは。

答 選考基準を公表することが望ましいと認識している。来年の2月末までには公表できるよう進める予定であり、採点結果の公表も対応していく。

防災・減災

台風21号の被害と災害対策

江川 直一 (公明党)

10月22〜23日の台風で、多くの冠水が発生した。公明党は、国民の命を守る事を政治の最優先課題とし、全国的な防災減災、老朽化対策を集中的に支援する『防災・減災ニューディール』を提唱し、その取り組みを進めてきた。国土の強靱化と地域経済の活性化を促し『地方創生』に大きく貢献する重要な政策である。

問 政府は中小河川の氾濫防止等のインフラ整備、ソフト対策と自助も組み合わせた総合的対策を進めている。

問 台風21号による市内の被害状況は。

答 時間最大雨量48mm、総雨量298mm、床上浸水1棟、床下浸水12棟、道路冠水26件、倒木7件、物的被害11件。特に、向町では広範囲道路冠水や11棟の住宅床下浸水、藤原町では道路冠水や工場

等3棟の浸水被害、また西新町やものつくり大学西側一帯が湛水した。
問 武蔵水路工事に伴い改修された水門の効果は。
答 3水門、6放流口が集中管理され、佐間水門地点で忍川の水位を1.24m下げ、被害が軽減されたとの報道があった。
問 市民の不安をなくす対策が必要だが、今後の災害対策は。
答 被害が多発する西新町、藤原町で対策している。進捗に合わせ、浸水被害のある他地区についても順次検討していく。
問 国土強靱化を踏まえ自治体間の広域連携が重要であり、首都圏の中で埼玉の果たす役割は大きい。経済の活性化に繋がる災害支援について本市の考えは。
答 地域防災計画により本市域の安定を図り、県と連携し支援に努める。